

# 介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

研修期間 令和元年11月22日～令和2年3月15日

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
<b>1. 職務の理解</b>				<b>【基準時間 6 時間（うち通信上限 0 時間）】</b>		
多様なサービスの理解	11月22日 18:00～19:00 (1時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[4] 宮野悠青	ア	講義及び演習: 介護保険による居宅サービス・ 介護保険による施設サービス・ 介護保険外のサービス
介護職の仕事内容や働く現場の理解	11月22日 19:00～21:00 11月25日 18:00～21:00 (5時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[4] 宮野悠青	ア	講義及び演習: 介護サービスを提供する現場の実際・介護 サービスの提供に至るまでの流れ・介護過 程とチームアプローチ
小 計	6時間	時間				
<b>2. 介護における尊厳の保持・自立支援</b>				<b>【基準時間 9 時間（うち通信上限 7.5 時間）】</b>		
人権と尊厳を支える介護	11月27日 18:00～21:00 11月29日 18:00～21:00 (6時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[5] 原口宇徹	エ	講義及び演習: 人権と尊厳の保持・ICF・QOL・ ノーマライゼーション・虐待防 止・身体拘束禁止
自立に向けた支援	12月2日 18:00～21:00 (3時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[4] 宮野悠青	ア	講義及び演習: 自立支援・介護予防
小 計	9時間	時間				
<b>3. 介護の基本</b>				<b>【基準時間 6 時間（うち通信上限 3 時間）】</b>		
介護職の役割、専門性と多職種との連携	12月4日 18:00～20:00 (2時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[2] 東原 豊	ア	講義及び演習: 介護環境の特徴・介護の専 門性・介護にかかわる職種
介護職の職業倫理	12月4日 20:00～21:00 (1時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[2] 東原 豊	ア	講義及び演習: 専門職の倫理の意義・介護 福祉士の倫理
介護における安全の確保とリスクマネジメント	12月6日 18:00～19:30 (1.5時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[13] 星山裕和	ア	講義及び演習: 介護における安全の確保・ 介護予防、安全対策・感染 対策
介護職の安全	12月6日 19:30～21:00 (1.5時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[13] 星山裕和	ア	講義及び演習: 介護職の心身の健康管理・ 感染予防
小 計	6時間	時間				
<b>4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</b>				<b>【基準時間 9 時間（うち通信上限 7.5 時間）】</b>		
介護保険制度	12月8日 8:30～12:30 (4時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[1] 下川富生	ア	講義及び演習: 介護保険制度創設の背景および目的、動 向・介護保険制度のしくみの基本的理解・ 制度を支える財源、組織・団体の機能と役 割
医療との連携とリハビリテーション	12月9日 18:00～20:00 (2時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[1] 下川富生	ア	講義及び演習: 医行為と介護・訪問看護・施設 における看護と介護の役、連 携・リハビリテーションの理念
障害者自立支援制度及びその他制度	12月11日 18:00～21:00 (3時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[7] 古平健太郎	ア	講義及び演習: 障害者福祉制度の概念・障害者自立支援制 度のしくみの基礎的理解・個人の人権を守 る制度の概要
小 計	9時間	時間				

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
5. 介護におけるコミュニケーション技術				【基準時間 6 時間 (うち通信上限 3 時間)】		
介護におけるコミュニケーション	12月13日 18:00~21:00 (3時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[4] 宮野悠青	ア	講義及び演習: コミュニケーションの意義、目的、役割・ コミュニケーションの技法・利用者、家族 とのコミュニケーションの実際・利用者の 状況、状態に応じたコミュニケーション技 術の実際
介護におけるチームの コミュニケーション	12月16日 18:00~21:00 (3時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[3] 朝枝正嗣	ア	講義及び演習: 記録における情報の共有化・報 告、連絡、相談・コミュニケー ションを促す環境
小 計	6時間	時間				
6. 老化の理解				【基準時間 6 時間 (うち通信上限 3 時間)】		
老化に伴うこころと からだの変化と日常生活	12月18日 18:00~21:00 (3時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[14] 西森公一	ア	講義及び演習: 老化と老年期・老年期の発達と老化に伴う 心身の変化の特徴・老化に伴う心身の機能 の変化と日常生活への影響
高齢者と健康	12月20日 18:00~21:00 (3時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[15] 小田哲也	オ	講義及び演習: 高齢者の症状・疾患の特徴・高齢者の疾病 と日常生活上の留意点・高齢者に多い病気 と日常生活の留意点
小 計	6時間	時間				
7. 認知症の理解				【基準時間 6 時間 (うち通信上限 3 時間)】		
認知症を取り巻く状況	12月23日 18:00~19:00 (1時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[6] 嘉藤真澄	ツ	講義及び演習: 認知症のケアの理念・認知 症ケアの視点
医学的側面から見た認 知症の基礎と健康管理	12月23日 19:00~21:00 (2時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[6] 嘉藤真澄	ツ	講義及び演習: 認知症の概念・認知症の原因疾 患とその病態・原因疾患別ケア のポイント・健康管理
認知症に伴うこころと からだの変化と日常生活	1月6日 18:00~20:00 (2時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[6] 嘉藤真澄	ツ	講義及び演習: 認知症の人への生活障害、 心理、行動の特徴・認知症 の人への対応
家族への支援	1月6日 20:00~21:00 (1時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[6] 嘉藤真澄	ツ	講義及び演習: 家族へのレスパイトケア・ 家族へのエンパワメント
小 計	6時間	時間				
8. 障害の理解				【基準時間 3 時間 (うち通信上限 1.5 時間)】		
障害の基礎的理解	1月8日 18:00~18:30 (0.5時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[7] 古平健太郎	ア	講義及び演習: 障害の概念とIFC・障害者福 祉の基本理念
障害の医学的側面、生 活障害、心理・行動の 特徴、かかわり支援等 の基礎的知識	1月8日 18:30~20:30 (2時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[7] 古平健太郎	ア	講義及び演習: 身体障害・知的障害・精神 障害・発達障害・難病
家族の心理、かかわり 支援の理解	1月8日 20:30~21:00 (0.5時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[7] 古平健太郎	ア	講義及び演習: 家族の理解と障害の受容支 援・介護負担の軽減
小 計	3時間	時間				

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				【番号】 氏名	要件	
9. こころとからだのしくみと生活支援技術				【基準時間 75時間 (うち通信上限 12時間)】		
I 基本知識の学習				(10～13時間)		
介護の基本的な考え方	1月10日 18:00～20:00 (2時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[4] 宮野悠青	ア	講義及び演習: 理論に基づく介護・法的根拠に基づく介護
介護に関するこころのしくみの基礎的理解	1月12日 8:30～12:30 (4時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[14] 西森公一	ア	講義及び演習: 学習と記憶に関する基礎知識・感情と意欲に関する基礎知識・自己概念と生きがい・老化や障害を受け入れる適応とその阻害要因
介護に関するからだのしくみの基礎的理解	1月13日 18:00～21:00 1月15日 18:00～21:00 (6時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[10] 西村仁孝	キ	講義及び演習: 生命の維持、恒常のしくみ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識・骨、関節、筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用・中枢神経と体性神経に関する基礎知識・自律神経と内部器官に関する基礎知識
I 計	12時間	時間				
II 生活支援技術の講義・演習				(50～55時間)		
生活と家事	1月17日 18:00～21:00 1月20日 18:00～21:00 (6時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[8] 田中優幸	ア	講義及び演習: 生活と家事の理解・家事援助に関する基礎的知識と生活支援
快適な居住環境整備と介護	1月22日 18:00～20:00 1月24日 18:00～20:00 (4時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[10] 西村仁孝	キ	講義及び演習: 快適な居住環境に関する基礎知識・高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用
整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1月26日 8:30～12:30 (4時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[9] 柿下俊也	ア	講義及び演習: 整容に関する基礎知識・整容の支援技術
移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1月27日 18:00～21:00 1月29日 18:00～21:00 1月31日 18:00～21:00 (9時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[11] 持原弘典	ア	講義及び演習: 移動、移乗に関する基礎知識・移動、移乗に関する福祉用具とその活用方法・利用者、介助者にとって負担の少ない移動、移乗の支援・移動、移乗を阻害する要因の理解とその支援方法・移動と社会参加の留意点と支援
食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月3日 18:00～21:00 2月5日 18:00～21:00 (6時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[16] 中原優子	ク	講義及び演習: 食事に関する基礎知識・食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法・楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法・食事と社会参加の留意点と支援
入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月7日 18:00～21:00 2月10日 18:00～21:00 2月12日 18:00～21:00 (9時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[8] 田中優幸	ア	講義及び演習: 入浴、清潔保持に関連する基礎知識・入浴、清潔保持に関連する用具の活用方法・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法
排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月14日 18:00～21:00 2月17日 18:00～21:00 (6時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[6] 嘉藤真澄	ア	講義及び演習: 排泄に関する基礎知識・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法・爽やかな排泄を阻害する要因の理解と支援方法
睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2月19日 18:00～20:00 2月21日 18:00～20:00 (4時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[13] 星山裕和	ア	講義及び演習: 睡眠に関する基礎知識・睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法
死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	2月24日 18:00～21:00 (3時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[12] 石井梨恵	ウ	講義及び演習: 終末期に関する基礎知識・生から死への過程・「死」に向き合うこころの理解・苦痛の少ない死への支援
II 計	51時間	時間				

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
Ⅲ 生活支援技術演習				(10～12時間)		
介護過程の基礎的理解	2月26日 18:00～20:00 2月28日 18:00～20:00 (4時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[5] 原口宇徹	ア	講義及び演習: 介護過程の目的、意義、展開・ 介護過程のチームアプローチ
総合生活支援技術 演習	3月2日 18:00～21:00 3月8日 8:30～14:30 (8時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[4] 宮野悠青	ア	講義及び演習: 生活の各場面での介護について、事例を通 じて、生活支援を提供する流れを理解し、 技術を習得する。利用者の心身の状況に合 わせた介護を提供する視点を習得する。
Ⅲ計	12時間	時間				
小計	75時間	時間				
10. 振り返り				【基準時間4時間(うち通信上限0時間)】		
振り返り	3月15日 8:30～12:30 (4時間)	時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[7] 古平健太郎	ア	講義及び演習: 研修を通して学んだこと、今後 に継続して学ぶべきこと、根拠 に基づく介護についての要点
就業への備えと研修終 了後における継続的な 研修		時間	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[7] 古平健太郎	ア	講義及び演習: 継続的に学ぶべきこと、研修終了後におけ る継続的な研修について、具体的にイメ ジできるような事業所等における実例を紹 介
小計	4時間	時間				
合計	4時間	時間				

修了評価							【基準時間1時間以上】
項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法	
				[番号] 氏名	要件		
修了評価	3月15日 13:30～14:30 (1時間)	/	小規模多機能型 居宅介護事業所 あじさい 15名	[7] 古平健太郎	ア	五肢択一方式・正誤方式・ 選択方式	

注1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する。項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。

注2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数(科目毎に別紙4に定める時間数を上限とする)を記載する。

注3 「担当講師」の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表(別紙様式5)に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。

注4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的な進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や時間、方法等を記載する。欄内に記載できない場合は、科目毎に別葉に記載する。

注5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。